



打上っ子だより

唐津市立打上小学校
令和7年1月14日(火)
第10号
文責 校長：山本 英俊

学校 HP こちら ↓



教育目標 地域や仲間を思い 夢に向かって輝く子どもの育成

1年の始まり ～3学期の始まり～

明けましておめでとうございます。令和7年、新しい1年の始まりです。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月8日、学校は3学期の始業式を迎えました。体調不良等による欠席はありましたが、多くの児童は14日間の冬休みを終え、元気に登校してきました。インフルエンザが流行しているなかでもあり、感染拡大を防ぐための対策を取りながらの3学期のスタートです。

始業式では「一年の計」について話しました。

「一年の計は〇〇にあり」として、「〇〇」に入る言葉を考えてもらいましたが…、子どもたちには難しいようでした。「一年の計は元旦にあり」ですね。

～以下、子どもたちへの話～

「新しい一年をどういう一年にしたいか」を考えるのは、元日の朝・一日目の朝がよい、ということです。つまり、何かが始まる、何かを始める、という時は、「初めが最も大切」ということです。だから、物事を始めるには、最初に自分自身で考えて、しっかりと計画を立てておくことが大切なのです。ただ、計画を立てただけでは変わっていかないので、その計画にそって自分で行動に移し、続けていくことも大事になるでしょう。こうすることによって、一人一人が賢くなって、自分を伸ばし、自分を成長させることができるのです。

今日は3学期始業式で「始まりの日」です。どういう一年にするか、どういう3学期にしていきたいかを考えるのに、ちょうどぴったりの日です。自分自身の目標やめあて、また、どんな学級にしていきたいか、などについて、それぞれで考えて生活をスタートさせましょう。

～以上～

2学期の登校日数は「80日」ほどありましたが、3学期は「50日」ほどで、6年生はさらに少ないです。一年で一番短い学期ですが、今の学年のまとめをしながら4月からの新学期につなげていく、とても重要な時期に入ります。子ども達や先生たちと、そして保護者・地域の皆さんとともに、充実した3学期の生活を創り上げていきたいと思ひます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

厳寒の朝でも ～朝チョボラ～



先週は、唐津地区に暴風雪警報が出され、9日(木)10日(金)は雪がちらつき凍つくような、厳寒の朝となりました。そんな中でも、登校後の6年生数名が箒を手外に出きて、校門付近や階段の掃き掃除をしてくれていました。その姿は大変立派で、心がじ～んと温くなりました。このような6年生の姿や思いを大切にしていきたいと思ひます。